

2014

# 聖書入門ツール

Bible Study Tool for Beginners

AD15 大沼 駿  
指導教員 西野 隆司

## 1. 研究目的

我が校のルーツであるキリスト教に対しての理解を学生に深めてもらいたいという願いから、ミッションスクールに通う学生に向けて、キリスト教の聖典である旧約聖書を理解する為のツールを制作する。

## 2. 調査と分析

キリスト教を学ぶにあたっては、聖書自体の内容が非常に難解であるという問題がある。旧約聖書は「律法」「歴史書」「諸書・文学」「預言書」に大別される書物で構成されており、物語、史料、訓話としての特徴を併せ持ち、とてもマルチで複雑である。また現代日本との文化の違いで分かりにくい記述も存在する。

## 3. コンセプトの立案

その読解の困難を考慮した上で設定したコンセプトは「共感」である。前述の、聖書の持つマルチな特徴などの学習阻害要因を克服できるように、読者が共感しながら物語を理解できるアプローチをテキスト、カリカチュアの両面から模索していく。

## 4. デザイン展開

具体的には、テキストによって旧約聖書のおおまかなあらすじを紹介し、次にそのエピソードに対応した人物が登場する漫画のページを数ページ挿んで最後にその物語にある宗教的含意などを再びテキストによって解説するコラムページを設ける形となる。

漫画自体の内容は、読者が物語に共感を持つ事を狙って様々な迷いを持つ現代人と聖書上の登場人物の対話を描くものにする。民族への迫害と戦ったモーセはいじめの被害者、上司との軋轢に苦しんだアダムは対人関係に悩む社会人を相手にするなど、各々の物語を卑近なテーマになぞらえて展開していく。

キャラクターのデザインは宗教画をもとにデフォルメしたもので、色彩もそれに準拠する。背景のカラーも目にうるさくない程度の彩度で描く。あらすじ、コラムなど文章のページは古紙風の図柄に植物の蔦をあしらったデザインとする。

あらすじ、コラム、漫画のこれら3つを1セットとして、それを登場人物ごとに全部で7つ用意する。全45ページ。

## 5. 完成図



- ①あらすじページ  
1 ページ
- ②漫画ページ  
2～5 ページ
- ③コラムページ  
1 ページ

×7セット

## 6. 結論

ターゲットとして設定した学生からは従来の書籍と比較して楽しみながら読めるという感想が得られた為、その点ではコンセプトに適ったものが出来たと言える。

またキリスト教関連書籍を多数出版している聖パウロ修道会サンパウロの方には、既存のものにはないオリジナリティがあり、完成度の面でも市販の書籍と遜色ないという評価をいただいた。一方で、キリスト教関係者としては、聖書で人気の登場人物を更に盛り込めば読者の幅を広げられたのではという意見もあり、ターゲットの設定によっては改良の余地ありと感じられた。

## 7. 参考文献

船本 弘毅『一冊でわかる名画と聖書——107の名画とともに聖書のストーリーを解説』、成美堂出版、2010  
ガエタノ・コンプリ『人生に 光を』、ドン・ボスコ社、1993